

浄法寺バイパス開通



発行



(株)フクタニユース



一九九六年事業開始以来、一九年の歳月を経て浄法寺バイパスが開通しました。九月一九日大勢の人が見守る中、開通式が行われました。ほとんどの人が自動車で移動する現代では、一本の道路が町の形態や暮らしぶりを変える大きな要素となっています。バイパスの開通により、利便性だけでなく、地域への幸せづくりに貢献できる道路であってほしいものです。



福田運送社長も開通式に参加

新社長の履歴書 その⑥

(半生はおこがましい感じがするので履歴書とします(笑))

石材業で最初に行ったことは、工期の短縮！この仕事は雪解けからお盆までの期間（3月～8月）で、一年分を稼がなければならないような仕事で、受注したお墓を立てる数は、お盆までの日数÷工期で建込可能な数となり、私が受け持った時は一つのお墓を建てるのに7日間も掛かってました。これを何とか4日間でできないものかと人夫と交渉するのですが頭から出来る訳がないと全く取り合ってもらえず・・・しかし、幾度の衝突、工夫にて翌年は5日、そしてさらに翌年はついに4日で建て込める様に改善できたのです。おかげでお盆までの受注可能な本数も増えました。さて今度は増えた分の営業ですが・・・（続く・・・）



～電力自由化～

砕石製造には、火薬、燃料、電気の3つのエネルギーが必要である。火薬と燃料は目に見えるが電気は見る事ができない。在庫が少なくなってきたので、そろそろ発注するかということもない。好きな時に自由に使えるのだが、いくら使ったかは電力量のメーターを見るしかない。山のような電気の塊が見えるわけでもない。そんな見えない物を数字に置き換え、月末に請求書がくる。請求書には商品として電気代の他に基本料金なるものを書いてある。バカにならない額である。今まで電線という紐で繋がった先には東北電力しかなかったが、電力自由化となり購入先が複数となった。『うちの電気の方が安いですよ！』と、セールスが来るようになった。選択技が増えることは喜ばしいことである。

栃木県



電車を三回乗り継いで栃木へ行った。正直遠かった。栃木の人は二戸を最果てと思っているのかもしれない。栃木市にある某破碎機メーカーの工場で破碎テストをし宇都宮へもどり、餃子をいただいた。普通の具を使った形も、サイズも変哲のない餃子だが、なかなか美味しかった。腹ごなしに駅前通りを歩いていると異様な看板を見つけた。『スッポン・へび』と書いてある。ペットショップではなさそうなので食材として売っている

のだろうか、隠れたB級グルメなのでは・・・などと思いながら、店の前の張り紙を見ると健康食品として取り扱っているようである。それにしてもこの看板はあまりにもまっすぐである。栃木県人気質を見たような気がする。

編集後記

全国労働衛生週間です！快適に働くことができる職場づくりに取り組む週間なんだそうですよ！

何か探して、取り組んでみなくては・・・。

新人登場

永年、赤い顔をして一人で立っていたコーラの自販機の隣りに白いTシャツを着た、ちょっとクールな新顔の自販機がやってきた。紅白でなんともおめでたい。しかし、これから紅白で売り上げ合戦が始まる。紅は、名の知れたブランド力で勝負するが、1本110円である。一方の白は、バラエティーに富んだ品ぞろえで500mlペットボトル以外はほぼ100円のワンコインで買える。物言わぬ自販機の静かな戦い。果たしてどちらに軍配があがるものやら。



もういつ寝ると・・・

よく行くコンビニからクリスマスケーキの予約パンフレットが届いた。最近、寒くなって来たとはいえ、まだ半袖シャツを着ているのに季節錯誤なものだと思っていると、いついつから年賀はがきを発売するとか、今年のお歳暮の主流はこれなどとやっている。なんと気の早いとこと。しかし、思い返してみると毎年クリスマス過ぎてから、ふうふう言いながら年賀状を書いていたことに気付く。亀さんは毎日少しずつ歩いていたから、ウサギに勝ったのである。



そこで自戒を込めた教訓を

『いざという時あわてない 日々の小さな準備から』